

舞台批評

TBC／ダンスリリック

白い軽快な衣装で踊る18人(女子12人、男子6人)のダンサーたち。1組の男女が芯になり、約40分の間、集合と離散を繰り返す。エモーショナルな美しいダンスである。

40年の歴史を斬新コンテで抽出



「ダンスリリック」の大詰め



「ドン・キホーテ」の一場面

る。塚本洋子テアトル・ド・バレエカンパニー(TBC)の40周年記念公演1日目(11月23日・愛知県芸術劇場大ホール)の主作品「ダンスリリック」である。

日本と欧州各国で振付家として活躍する遠藤康行(東海地区初登場)の新作コンテンポラリー。16人のダンサーは同調し

たり反発したり、様々なバリエーションを展開。最後には一人の女性ダンサーを賛美して幕を閉じた。

この作品はTBCの40年の歴史を表現したもので、主役の女性ダンサーは主宰の塚本洋子ではないか、と思いがちだった。バレエ団立ち上げから現在まで、成功と苦悩、栄

深川秀夫へのオマージュを込め

TBC／ドン・キホーテ

塚本洋子テアトル・ド・バレエカンパニー(TBC)が40周年記念公演2日目「深川秀夫版ドン・キホーテ」(11月25日・芸術劇場大ホール)を開催した。

レオタードのご購入 **送料無料**

1枚からでも大丈夫

DanSkate

住所 平田0-0008 愛知県名古屋市中区平田0-0008 2F
白川本町ビル5F (大橋商店街の上です)
電話番号 052-263-7900

https://danskate.com

現代音楽でコントラバスの本領



クラウドファンディングで実現した五重奏公演

小枝の呼び掛けに、ピアノ・内藤江美・ヴァイオリン・北垣紀子・ヴィオラ・花井晶子・チェロ・高木俊彰が賛同。フンメル、シューベルトのピアノ五重奏曲を演奏した。

界し、今回は塚本洋子ら5人の指導者によって再演に漕ぎ着けた。主役のキトリにはTBCからNorth Bohemian Ballet(チェコ)に入団し、ソリストとして活躍した永田瑞穂が指名を受けた。

るため、相手役とのバランスを欠いたが、それはそれ。劇中の随所に、深川のキトリにはTBCからNorth Bohemian Ballet(チェコ)に入団し、ソリストとして活躍した永田瑞穂が指名を受けた。

シャンゼリゼ劇場初の日本人出演歌手、日本ジャズボーカル大賞受賞シンガーの共演

ギター 牛丸健司

歌手 松本幸枝

シンガー 由起 真

1/12 thu ベル・セゾン・トロワ & 由起 真

～松本幸枝・牛丸健司～

open 13:30 start 14:00 charge 6,000yen

理想的のシャンソン空間 Cafe Concert エルム 名古屋市千種区吹上2-4-5

TEL 052-733-0085 エルム シャンソン 検索

◆推奨公演◆

◇名古屋市中文化振興事業団企画公演ミュージカル「パジャマゲーム」◇

17日(午後6時30分)18、19日(午前11時、午後4時)アートピアホール。パジャマ工場従業員の賃上げをめぐる闘争と男女のロマンを描いたブロードウェイ・ミュージカル。1954年に初演され翌年のトニー賞を受賞。2006年に再演され2度目のトニー賞を獲得するなど、時代を超えて高い評価を得る名作。翻訳演出は中原和樹、指揮は角田鋼亮、振付は杉田裕美。管弦楽はセントラル愛知交響楽団。全指定1階席4000円。2階席3000円。TEL 052(249)9387。

日舞の魅力を示した古典と創作



朗読舞踊劇「いちようの実」

朗読「いちようの実」(詩・宮沢賢治、朗読・いのちようの)

風情を、熟練の手腕で踊り分けた。「いちようの実」では、自身がイチョウの大木となり、わが子(ギンナン)をいたわる深い愛を描いた。チャレンジ精神あふれる園美ならではの一作である。

名唱で際立った崇高な詩と音楽

ソプラノ 小林史子

文学性豊かな詩と崇高な音楽、そして力強い歌唱。芸術性にあふれる優れたコンサートだった。東海地区を代表するソプラノ歌手、小林史子のリサイタル「森の神々」(11月18日・電気文化会館)である。



小林史子と北住淳(ピアノ)

詩など民族性の強い歌曲集が中心(ピアノは愛知県立芸大教授の北住淳)。娯楽性を排除し、どんな欲に新たな音楽ジャンルを追い求める小林ならではの選曲である。

愛娘との共演で、新たな一歩、



奥村晃平と娘の奥村那月

「冬の旅」は、詩人ミューラーの詩にシューベルトが作曲。人生に失望し、さすらいの旅を続ける男を描いた24編の歌曲集。バリトン歌手のバイブルとして名古屋二期会を引っ引してきた奥村晃平

陣の群舞、コールドの美しさにも目を見張った。居酒屋の女主人を踊った公門美佳、08年の公演でもキホーテを演じた宮本正尚、名わき役あつての全幕ものである。

10月に開催された二期会オペラの出演を、様々な理由で取りやめた奥村。落胆から再生に向けて「冬の旅」のドラマは、改めて共感できるテーマであったに違いない。最後のリサイタルではなく、新たな一歩を決心したりリサイタルであると解釈したい。

衰えぬ土居裕子の名演、名唱

音楽劇「人形の家」

ロインのローラを演じていることだ。

近代劇の代表作とされるヘンリック・イブセンの「人形の家」をミュージカル化した「音楽劇人形の家」(作曲・上田亨、演出・西川信廣)が、名演例会として上演された(11月14、15日・名古屋市民会館)。

ストリートプレー(会話劇)として完成された同作のミュージカル化には賛否両論があったと思われるが、私は賛成。シンプルに再構成され、若い人にも分かりやすくなったと思う。そして何よりの強みは、音楽座のプリマドンナとして一時代を築いた土居裕子がヒロインを演じる土居裕子

舞台批評



ヒロインを演じる土居裕子

人形劇とは…、人形遣いとは…

人形劇「寿歌」

愛知人形劇センターがプロデュースした人形劇「寿歌」は、11月30日、12月4日・ひまわりホールを見た。いわずと知れた劇作家・北村想



「寿歌」の人形と人形遣い

せりふはすべて録音で、人形遣いはせりふに合わせて人形を操った。彼らの大熱演はパフォーマンスとして楽しませてもらう

(作詞なかにし礼、作曲・川口真一1969年発売)は、まさにイブセンの戯曲から生まれた傑作である。 ※名演次回の公演は画

はせの奇策で輝き増した原作

たが、人形の動きが適切だったとは思えない。人形劇とは何か。時として人形が人間以上に情感を放つのはなぜか。文楽から学ぶべきである。



ジャブジャブ

ジャブジャブサーキットの番外公演「シヴァ氏の幕間」近代戯曲に学び遊ぶ短編集①(11月11、13日・ひまわりホール)

胸に響く「忘れないで」の叫び



「ぼんやりブルース2022」の一場面

ヌトミック

ヌトミック「ぼんやりブルース2022」(作・演出・音楽・額田大志が芸術劇場小ホールで上演された(12月2、3日)。

今年の第66回岸田戯曲賞の候補作となった「ぼんやりブルース」の最新バージョン。東日本大震災とコロナウイルスによ

るパンデミックを取材し、今を生きる人々の不安を、音楽を駆使して描くパフォーマンス作品。

舞台上には瓦礫、石ころ、テント、家具、そして楽器などが置かれ、客席よりも高い空間にはテープが張り巡らされている。役者は舞台上で語り、呼び掛け、踊り、楽器を奏で、テープ越しに見える上方の通路からはマイクで声を飛ばす。

東北のリサーチをした時期は2018〜20年にかけてのこと。そのせいか発せられる言葉には日常と生活に寄り添った

スタッフの創意が生んだ名舞台



左から結崎涼、西川文紀、岡田一彦

を、演出の佐藤友彦(狂言師)が鮮やかに劇化した。女性だけの劇団「Sum and Drang」の2022年公演「如月」(12月3、4日・熱田文化小劇場)である。

平安時代に育まれた一つのロマンスが、時空を超えて現代に結実する。劇団を主宰する結崎涼が書き下ろした奇想天外な

事柄も多くとりわけ「忘れないで」という叫びが胸に響く。そしてコロナ禍のただ中で不安を抱えて歌う声の祈りのように観客に伝わっていく。

ければよいのか、音楽にのせて弾き語ればよいのか同じ言葉を繰り返してきただけ、今作では演劇で人の思いを伝えるという強い意思が際立っていた。(竹本)

いつもヌトミックの知的さ、実験精神には感心してきたが、今作では演劇で人の思いを伝えるという強い意思が際立っていた。(竹本)

新曲満載！

未だヒト曲のない音楽会 2023

全曲、「あおい英斗」作詞によるプログラム！
『ヒット曲になるかどうかは、皆様にかかっています！？』(紳)

演奏者 水野慎太郎[ヴァイオリン] 青山小枝[コントラバス] 佐藤愛[ピアノ]

2023年11月14日 Sat
1st 14:30 Start 14:00 Open
2nd 18:30 Start 18:00 Open

チケット【全自由席】
一般 前売 3,500円 | 当日 4,000円
高校生以下 前売 2,000円 | 当日 2,500円

主催：株式会社マミ

公演の詳細は 電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)
HITOMIホール 名古市中区葵三丁目21番19号 メンコANNEX 5F

間奏曲

東海地区芸術部門で初の重要無形文化財(いわゆる人間国宝)となった尺八奏者・野村峰山さん(65歳)の認定記念祝賀会が11月30日、市内のホテルで盛大に行われた。

「留守」と「煙草の」を上演した。そんな「奇策」によって、3作は輝きを増したのである。ちなみにタイトルの「シヴァ氏の幕間」は、「しばしの幕間」の駄じゃれである。

3作それぞれに俳優が熱演した。中でも一人芝居「煙草の」を演じた丹羽亮仁(客演)の孤軍奮闘ぶりが印象深い。この「近代戯曲に学ぶ遊ぶ短編集」には続編があるらしい。しかし私ははせの戯曲が見たい。過去の「巨匠」よりも、現代の「奇才」の方が面白い。

が解ける度にそれを落とした。すべての謎が解き明かされ、最後の布が落ちた時、ドラマは儚くも美しい恋物語を結実させたのである。

結崎涼、景山紀子ら6人の出演者は堅実な役作

盛大に峰山さん人間国宝祝賀会

超える来賓、関係者が集い、峰山さんを祝福した。

認定の決め手になったのは、都山流創始者の初代・中尾都山が残した28作の本曲(尺八のために書かれた曲)を五線譜に書き直し製本した。その全曲を3年がかり6回にわたって公演し、2019年度の芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポーター会員を募集しています。会費は年間6,000円(税込込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者のみ)。会員

和光写真/角テス・大阪/麟三光/Hide Dance Lab./角ビデオ映社/松岡伶子バレエ団
NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティストカンパニー
特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木啓利子/Office KAN/ミュージカルアカデミー-KAO
フィルハーモニー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナバレエ研究所/スマイル・ミュージカルアカデミー
Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美

透明感ある歌声と温かなリユート

ソプラノ 加藤佳代子

ソプラノ加藤佳代子の「ソプラノとリユート」によるやすらぎの音楽（10月30日・5・Rホール）。リユートは何度も共演している櫻田亨。

ジャズ風のスイングに心地よさ
ピアノ 堀夏紀

17世紀ルネサンスからバロックにかけての宮廷歌曲を集めた。前半はイギリスのエリザベス一世、後半はフランスでルイ14世の時代。

イギリスでは有名なダウランドのほか、カンピオン、ビルキントン。フランスはグドロン、ムリニエ、ボエゼら初めて聴く作曲家に新鮮さ

堀夏紀ピアノリサイタル（11月15日・電気文化会館）は、アメリカ音楽のリズムに揺られた。菊里高を出て、アメリカで7年間学んだ実績が

イメージをピアノで表現するのは容易ではないが、ジャズ風のスイングに、心地よさを感じた。特に「ラフソディ」は

ベートーヴェンのチェロ作品全曲を演奏する高木俊彰のリサイタル（11月19日・電気文化会館）。初回はチェロソナタ3曲と「ヘンデルユダ・マカベウス」の主題による

「ピアノソナタ」は、リズムより情緒を重視した奏法に新鮮味があつた。

メロディーはシンプルだが、歌詞はかなり激しい。

い内容。赤裸々な恋の歌、絶望に陥った心情を、透明感のある歌声と心温まるリユートの音色で紡いでいく。

ペストの流行など不安な時代、人々が「やすらぎ」を求めた音楽に、心が洗われる思いがした。

傑作の魅力が伝わる綿密な演奏

チェロ 高木俊彰

り緻密なアンサンブルを披露した。

最初の変奏曲は、おなじみの主題で導入から親しみやすい。ソナタは初期の1番、中期の3番、後期の4番と

作風の違いが分かりやすい。生き生きとして若さあふれる1番。次の4番は

内面の深さを感じ、第2楽章のリズムが印象的。最後の3番はチェロソナタ5曲中の最高傑作で、その魅力をよく伝える名演だった。

桑野の好リードを受けて、高木が力量を大いに発揮した。



加藤佳代子と櫻田亨

⑥ピアノ 堀夏紀

⑦高木俊彰と桑野郁子

ピアノは桑野郁子で、最後の3番はチェロソナタ5曲中の最高傑作で、その魅力をよく伝える名演だった。

桑野の好リードを受けて、高木が力量を大いに発揮した。

ハンガリー国立フィル創立100周年記念コンサート
ベートーヴェン 創作曲「エグモント」序曲
フルティナー指揮
ハンガリー国立フィルハーモニック管弦楽団
ソプラノ 加藤佳代子
ピアノ 堀夏紀
2023.11.19 18:00開演
119,000円（税込）
14,000円（税込）
8,000円（税込）
4,000円（税込）
2,000円（税込）

ユリアン・アヴデーエフ
ピアノリサイタル
2023.3.18 18:45開演
18,000円（税込）
12,000円（税込）
8,000円（税込）
4,000円（税込）
2,000円（税込）

沢田若梧
ピアノリサイタル
2023.3.18 18:45開演
18,000円（税込）
12,000円（税込）
8,000円（税込）
4,000円（税込）
2,000円（税込）

指揮：広上淳一
ピアノ：野田清隆
名古屋特別演奏会
東京混声合唱団
2023.4.14 14:00開演
13:30開場
三井住友海上しらかわホール
PROGRAM
尾高惇忠 混声合唱のための『光の中』
三善晃 合唱組曲『五つの童画』
デュリュフレ グレゴリオ聖歌による4つのモテット
尾高惇忠 混声合唱曲集『春の岬にきて』
TICKET (全席指定・税込)
S席 ¥5,500 A席 ¥3,000 U25 ¥2,000
【発売日】2022年12月10日 10:00～
プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ Pコード: 231-988
ローソンチケット Lコード: 41637
イープラス
しらかわホールチケットセンター 052-222-7117
芸文プレイガイド 052-972-0430
栄プレチケ 92 052-953-0777

鈴木 優人
J.S.バッハ
6つのパルティータ
BWV825～830
チェンバロ
リサイタル
2023.1.26 18:15開演
三井住友海上 しらかわホール
【全席指定・税込】
S席 ¥5,500 A席 ¥4,500 B席 ¥3,000
プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ Pコード: 232-849
ローソンチケット Lコード: 41490
芸文プレイガイド 052-972-0430
栄プレチケ 92 052-953-0777

藤木大地
村治佳織
デュオ・リサイタル
2023.1.29 15:00開演
三井住友海上 しらかわホール
プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ Pコード: 232-717
ローソンチケット Lコード: 41490
芸文プレイガイド 052-972-0430
栄プレチケ 92 052-953-0777

チャイコフスキー国際コンクール優勝！
ショパン・コンクール第3位、待望のリサイタル
ダニール・トリフォノフ
ピアノ・リサイタル
2023.2.12 14:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール
【全席指定・税込】
S席 ¥9,000 A席 ¥7,000 B席 ¥5,000 U25 ¥2,000
プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ Pコード: 231-260
ローソンチケット Lコード: 42420
芸文プレイガイド 052-972-0430
栄プレチケ 92 052-953-0777

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00～16:00 土日祝休)
アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット[電子チケット]導入。(利用できない公演もあります)
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット
販売から、ホール、座席のことまでオペレータが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、
便利なクラシック専門のプレイガイドです。